

自らの健康に関心をもち、健康生活を実践できる児童の育成

名古屋市立赤星小学校

本校は名古屋市の西に位置し、学校の周囲は古くからの住宅や田園地帯が広がる地域にある。「考える子」「明るい子」「たくましい子」を学校教育目標に掲げ、歯科保健では「歯と口の健康づくりを通して、自らの健康に関心をもち、問題を解決していく力の育成」を重点的に進めている。

【実践の内容】

○ピカピチ教室



歯科健康診断の結果を受け、4年生を対象に、学校歯科医や歯科衛生士を招き歯みがき指導「ピカピチ教室」を行った。ピカピチ教室では、染め出し指導を行い、歯垢がどの部分にたまっているか、みがき残している部分はどこかなどを、目で見て確認した。また学校歯科医や歯科衛生士からブラッシング指導や歯肉炎についての指導を受けた。このピカピチ教室をはじめ、4年生では1年を通じて、歯科に関する指導をしている。

○食育と歯育をリンクさせた指導

「よくかんで食べよう」を題材に、咀嚼の効果を指導した。また、事前に児童の食事の様子をアンケートで把握しておき、普段の生活や食のスタイルを振り返らせる機会となった。よくかんで食べることや唾液は、むし歯予防になることを関連づけて指導した。



○6月 歯の衛生週間「ファミリーで歯みがき」

児童が家庭での歯みがきの習慣をつけることや、保護者の歯科保健に対する意識を高めるため、歯の衛生週間に「ファミリーで歯みがき」という取り組みを行った。この取り組みでは、家族と児童の歯みがきカレンダーを1枚にまとめ、家族と一緒に歯をみがき、3分以上しっかりみがくことができたならカレンダーに色塗りをするようにさせた。



○歯ブラシを使用した歯科健康診断

本校の歯科健康診断は、児童の歯ブラシとデンタルミラー1本を使用して行っている。健康診断の中で学校歯科医から歯ブラシの交換時期や、みがき残しの多い部分などを直接指導していただいた。児童は手鏡を持ち、気をつけてみがかなければいけない部分を目で見て確認した。



○その他

- 〈低学年〉 歯の大切さを、紙芝居を使って指導した。
- 〈中学年〉 夏休みの宿題として染め出しをさせた。
- 〈高学年〉 学童歯みがき大会に参加した。学校歯科医と会食した後に、一緒に歯みがきをする機会を設けた。